

〈2025年1月～6月実施〉

生命保険一般課程試験

試験問題【フォームC】

● 注意事項

1. 試験時間は40分です。

2. 試験問題は、全部で82問あります。《100点満点》

問題1から25は、語群の中から適切なものを選ぶ問題《各1点：25点満点》

問題26から30は、語群の中から適切なもの（数字・語句）を選ぶ問題《各2点：10点満点》

問題31から33は、誤っているものを2つ選ぶ問題《各4（部分点2）点：12点満点》

問題34から37は、誤っているものを1つ選ぶ問題《各2点：8点満点》

問題38から67は、正誤を選ぶ問題《各1点：30点満点》

問題68から82は、文章の中に入る適切なものを選ぶ問題《各1点：15点満点》

業界共通教育課程試験等のテキストおよび試験問題の取扱方針について

- ・業界共通教育課程試験、生命保険講座試験および継続教育制度（以下、業界共通教育課程試験等という）のテキストおよび試験問題（過去問題を含む）の著作権は、生命保険協会に属します。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）は業界共通教育課程試験等の教育および受験の目的にのみ利用するものとします。
- ・テキストおよび試験問題（過去問題を含む）の一部または全部を無断で複写・複製・転載・頒布・販売すること、ならびに磁気または光記録媒体、コンピューターネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き固く禁じます。なお、生命保険協会が許可した場合または法律で認められた場合であっても、当該行為により生じた結果について、生命保険協会は故意または重大な過失がある場合を除き一切の責任は負わないものとします。

一般社団法人 生命保険協会

[生命保険の仕組み - ①]

文中の空欄 [1] ~ [2] に入る最も適切なものを選んでください。

生命保険は「一人は万人のために、万人は一人のために」という [1] の精神で成り立っているといえます。つまり、大勢の人々がお金を出し合って大きな共有の [2] をつくり、万一のことがあったときは、その中からまとまったお金を出して、経済的に助け合う仕組みです。

語群

- ア. 相互扶助
- イ. 公的扶助
- ウ. 準備財産
- エ. 預金口座

[生命保険の仕組み - ②]

文中の空欄 [3] ~ [5] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 数少ない経験では何の法則もないようなことでも、数多くの経験を集めると、一定の法則があることがわかります。これを [3] といいます。
2. [4] とは、ある集団（性別・年齢別）について [5] を観察し、人の生死の法則を表にしたものです。

語群

- ア. 自然の法則
- イ. 大数の法則
- ウ. 生命表
- エ. 乱数表
- オ. 損害率
- カ. 死亡率

[保険料の仕組み - ①]

文中の空欄 [6] ~ [7] に入る最も適切なものを選んでください。

契約者が生命保険会社へ払い込む保険料は、①保険金支払いの財源となる [6]、②生命保険会社が保険事業を維持・管理するための費用となる [7] の2つの部分から成り立っています。

語群

ア. 自然保険料

イ. 平準保険料

ウ. 純保険料

エ. 付加保険料

[保険料の仕組み - ②]

文中の空欄 [8] ~ [10] に入る最も適切なものを選んでください。

保険金支払いの財源となる部分は、「死亡保険金支払いの財源となる [8]」と「満期保険金支払いの財源となる [9]」で構成されており、予定死亡率と予定 [10] を基礎として計算されています。

語群

ア. 生存保険料

イ. 営業保険料

ウ. 賯蓄保険料

エ. 死亡保険料

オ. 利率

カ. 事業費率

[生命保険会社の仕組み - ①]

文中の空欄 [11] ~ [13] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 国は、保険事業が健全に運営されることにより、契約者等を保護するために [11] を定めています。

そして、生命保険事業を [12] 事業としたうえ、金融庁が監督や規制を行っています。

2. 生命保険会社の経営の健全性を示す指標として、「ソルベンシー・マージン比率」や [13] などがあります。

[13] とは、生命保険会社の1年間の保険本業の収益力を示す指標のひとつで、一般の事業会社の営業利益や、銀行の業務純益に近いものです。

語群

ア. 預金保険法

イ. 保険業法

ウ. 免許

エ. 届出

オ. 基礎利益

カ. 経常収益

[生命保険会社の仕組み - ②]

文中の空欄 [14] ~ [15] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 生命保険会社が万一破綻した場合には、[14] により、破綻した生命保険会社に係る保険契約の移転などにおける資金援助、保険契約の引き受けなどの契約者保護の措置がとられます。

2. 生命保険会社の経営形態には、「[15]」と「株式会社」の2つがあります。「[15]」は、保険事業だけに認められているものです。

語群

ア. 生命保険契約者保護機構

イ. 預金保険機構

ウ. 合資会社

エ. 相互会社

[契約取り扱いの手続き - ①]

文中の空欄 [16] ~ [18] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 申込書は大切な書類ですから、記入に際しては、職業は単に会社員とか、あるいは会社名を記入するのではなく、現在の [16] を具体的に記入していただくことが必要です。
2. 保険料を求める場合、まず [17] の生年月日から契約年齢を求め、次にその契約年齢をもとに、保険種類、保険金額などに応じた保険料を求めます。
3. 契約年齢を求める方法として「満年齢」を使用する生命保険会社と、いわゆる [18] を使用する生命保険会社があります。

語群

- ア. 勤続年数
- イ. 仕事の内容
- ウ. 被保険者
- エ. 契約者
- オ. 数え年
- カ. 保険年齢

[契約取り扱いの手続き - ②]

文中の空欄 [19] ~ [20] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 第1回保険料（充当金）領収証を書き損じたときは、[19] することが必要です。
2. 新契約時の保険料が [20] 以上のときは、第1回保険料（充当金）領収証に200円の収入印紙をはります。

語群

- ア. 40,000円
- イ. 50,000円
- ウ. 正確なものを新しく発行
- エ. 訂正あるいは加筆

[相続の法律 - ①]

文中の空欄 [21] ~ [23] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 配偶者と兄弟姉妹が相続人の場合、配偶者の法定相続分は [21] となり、配偶者と親（直系尊属）が相続人の場合、配偶者の法定相続分は [22] となります。
2. 相続人は、被相続人の財産上の権利・義務を相続するかしないかを自由に決めることができます。それは、①相続の承認、② [23] のいずれかを選択することです。

語群

- ア. 1 / 4
- イ. 3 / 4
- ウ. 1 / 3
- エ. 2 / 3
- オ. 相続の放棄
- カ. 相続の中止

[相続の法律 - ②]

文中の空欄 [24] ~ [25] に入る最も適切なものを選んでください。

1. 被相続人の財産上の権利・義務を全部受け継ぐ方法を相続の [24] 承認といいます。この場合、もし借金などの債務が相続財産より大きいときには、相続人は自分の固有の財産から弁済しなければなりません。
2. 相続税の課税対象となる財産には、[25] 相続財産として、死亡保険金や死亡退職金なども含まれます。

語群

- ア. 繼続
- イ. 単純
- ウ. みとめ
- エ. みなし

【設計販売の基礎】

文中の空欄 [26] ~ [30] に入る最も適切なものを選んでください。
(同じ解答を複数回使用してもかまいません。)

次の計算式は、世帯主を勤労者である夫、配偶者（妻）は無収入の専業主婦とした場合の遺族生活資金の計算方法を表したものです。

【設定条件】

- 夫死亡時（40歳）の家族構成は、妻（36歳）、子ども2人（10歳、7歳）とします。
- 末子の大学卒業年齢は、22歳とします。
- 現在の月間生活費は、40万円とします。
- 家族の月間生活費は、現在の月間生活費の7割とします。
- 妻の月間生活費は、現在の月間生活費の5割とします。
- 平均余命表

年齢	男	女
50歳	33年	38年
51	32	37
52	31	36

年齢	男	女
53歳	30年	35年
54	29	34
55	28	33

（令和4年簡易生命表より）

1. 家族の生活資金 = $40 \text{ 万円} \times 0.7 \times 12 \text{ カ月} \times (22 \text{ 歳} - [26] \text{ 歳})$

2. 妻の生活資金の計算

①妻の平均余命を求める。

・ [27] 歳 + (22歳 - [26] 歳) = [28] 歳

・ [28] 歳時の平均余命 = [29] 年

②妻の生活資金 = $40 \text{ 万円} \times 0.5 \times 12 \text{ カ月} \times [29] \text{ 年}$

3. 遺族生活資金 = [30]

語群

ア. 6

イ. 7

ウ. 35

エ. 36

オ. 37

カ. 38

キ. 50

ク. 51

ケ. 家族の生活資金 + 妻の生活資金

コ. 家族の生活資金 - 妻の生活資金

31 [私たちの役割と心がまえ]

次の文章のうち、誤っているものを2つ選んでください。

ア. 契約の締結時だけではなく、その後も、お客さまに適切なアフターサービスを提供していくことが大切です。

イ. 生命保険の販売活動には、預金保険法等の法的な規制があり、それ以外にも、所属生命保険会社が定める行動規範や販売活動に関するルールがあります。

ウ. 生命保険の販売にあたっては、顕在ニーズのみにもとづいてお客さまにアプローチすればよく、潜在ニーズを引き出す必要はありません。

エ. 生命保険の目的は、保険事故が発生したときの経済的な保障をお客さまに提供することです。したがって、生命保険会社には社会的な責任があり、私たち自身がその社会的役割の一翼を担っています。

32 [契約の選択]

次の文章のうち、誤っているものを2つ選んでください。

ア. 生命保険会社が契約を選択するにあたっては、職業上の危険、行動上の危険、道徳上の危険の3つの危険について、それぞれの危険度の大きさを把握することが大切になります。

イ. モラルリスクとは、「生命保険を利用して、不正に利得しようとする心理状態」の人がすんで生命保険に加入したがる傾向があることをいいます。

ウ. 契約の選択の手段として、生命保険募集人が、被保険者（または契約者）の現在の職業や仕事の内容を具体的に詳しく聞くことなどがあります。

エ. お客さまに告知いただくのは、診査を行わない契約の場合だけで、医師の診査による契約の場合には、告知いただくことはありません。

33【隣接業界】

次の文章のうち、誤っているものを2つ選んでください。

ア. JA共済の生命共済の種類には、民間の生命保険の終身保険や定期保険特約付終身保険に相当する終身共済などがあります。

イ. こくみん共済・各都道府県民共済は、いずれも厚生労働省の監督のもと、組合員を対象に普及推進されており、原則として、有診査で、小口の死亡保障であり、特約は付加できません。

ウ. 少額短期保険業者は、生命保険契約者保護機構の対象になります。

エ. 損害保険は、偶然の事故による損害を補償するもので、火災保険・自動車保険などがあります。

34【保全・アフターサービス手続きと留意点】

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 払済保険や延長（定期）保険に切り換えた場合、元の契約の各種特約部分は変更後、消滅します。

イ. 延長（定期）保険への切り換えの際、計算上の保険期間が元の契約の保険期間より短くなる場合には、その期間満了をもって契約は消滅します。

ウ. 保険料の負担を軽減するために、保険期間の途中から保険金額を減らすことを減額といいます。減額部分は、解約されたものとして取り扱いますが、解約返戻金があっても払い戻されません。

35 [コンプライアンスの重要性]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. コンプライアンスとは、一般に「法令等の遵守」と訳されており、多くの企業では、社会的規範や企業倫理を除いた、法令や社内ルールだけを守るという意味で用いられています。

イ. 生命保険募集人の活動においては、法令をはじめ、生命保険募集人が所属する生命保険会社や保険代理店の諸規定、社会的規範に至るさまざまなルールを遵守し、社会的な倫理・良識のもと、お客さま本位の行動を実践することが求められています。

ウ. 生命保険募集人の活動において守らなければならない法律には、保険業法に加え、金融サービス提供法などさまざまな法律があり、さらに保険会社と契約者との間の契約ルールを規定する保険法があります。

36 [募集時の正しい説明]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 生命保険契約は、生命保険会社と契約者との間でとりかわす約束ですが、この内容となるお互いの権利義務を規定しているのが約款です。

イ. 生命保険会社は、あらかじめ一定の契約条件、内容を定めた保険種類ごとの約款を作成し、内閣総理大臣の認可を受けて、公平に契約できるようにしています。

ウ. 「ご契約のしおり」は、契約者に提供すべき契約内容に関する基本的な情報であり、契約締結後、直ちにお客さまに交付しなければなりません。

37 [社会保障制度]

次の文章のうち、誤っているものを1つ選んでください。

ア. 公的扶助制度には、「雇用保険法」にもとづき、生活困窮者への程度に応じた保護と最低限度の生活保障およびその自立を手助けする制度などがあります。

イ. 国民年金は、原則として20歳以上60歳未満のすべての国民が被保険者となる最も基本的な年金であり、基礎年金として老齢・障害・遺族の3つがあります。

ウ. 公的医療保険制度は、原則として全国民が健康保険、国民健康保険などのいずれかの制度に強制加入となる「国民皆保険体制」がとられています。

38 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険は、病気や災害などによる死亡の場合の遺族の保障だけでなく、病気やケガに対する医療資金の確保や老後の生活を保障する方法、子どもの教育・結婚、住宅資金などを確保する方法としても利用されており、幅広い機能をもっています。

正

誤

39 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

現在では1世帯当たりの家族の構成人員が少なくなり、経済生活に必要な保障は自己の責任において準備すべきであるという自己責任意識はますます強くなっています。

正

誤

40 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

令和4年簡易生命表によると、男性・女性の平均寿命はともに90歳を超えています。

正

誤

41 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

各年齢者が将来平均して生きられる年数を「平均寿命」といいます。

正

誤

42 [生命保険の役割]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

社会保障制度は、国民に一定水準の生活保障をするもので、国民が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう、国などが社会政策の一環として実施する経済制度です。

正

誤

43 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料の払込方法（回数）には、月払、半年払、年払および一時払の4種類があります。

正

誤

44 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

一時払は保険期間の全保険料を一時に払い込む方法です。

正

誤

45 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

まだ払込期月がきていない将来の保険料の一部または全部をあらかじめまとめて払い込むこともできます。これを前納といいます。

正

誤

46 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

前納による払い込みの場合、保険料は保険業法の定める利率で割り引かれます。

正

誤

47 [保険料の払い込み]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険料の払込方法(回数)については、途中で変更することはできません。

正

誤

48【資産の運用】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社は、契約者への保険料の還元（配当金の割り当て）を行うために、積極的な資産運用をしなければならず、安全性に配慮して運用する必要はありません。

正

誤

49【資産の運用】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険会社の資産は、多くの契約者から払い込まれた保険料をもとに成り立っていることから、国民経済や生活の向上に役立つような公共性をもった運用を行うことが必要です。

正

誤

50【資産の運用】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社の資産運用は、その性質上、長期の資金として国民経済に大きな役割を果たしてきました。

正

誤

51【資産の運用】

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社の資産運用の対象に貸付金は含まれません。

正

誤

52 [資産の運用]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社の資産運用の対象のうち、土地・建物などの不動産は、安全性確保のため自社の営業用のものに限られています。

正

誤

53 [正しい告知の取り扱い]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約確認は、生命保険会社が、契約の成立前に申込内容や告知内容などについて確認を行うもので、契約成立後に契約確認を行うことはありません。

正

誤

54 [正しい告知の取り扱い]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社は、契約成立後に「保険証券」を契約者に送付し、契約内容の確認をお願いしています。

正

誤

55 [正しい告知の取り扱い]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

生命保険会社は、告知義務違反による保険契約の解除の原因を知つてから1カ月以内に解除を行わなかった場合、保険契約を解除できません。

正

誤

56 [正しい告知の取り扱い]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

告知義務違反の態様が特に重大な場合（現在の医療水準では治癒が困難または死亡危険の高い疾患の現病歴・既往歴等について告知をされなかつた場合等）は、「詐欺による契約の取消し」になることがあります。この場合、すでに払い込んだ保険料は返還されます。

正

誤

57 [正しい告知の取り扱い]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

お客さまに対して「告知義務違反をしても2年経過すれば契約は解除されないので、正しい告知をする必要はありません」などと説明することは、重大な法令違反に該当します。

正

誤

58 [照会・苦情時の対応]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

お客さまからの簡単な照会・相談であっても、対応の悪さから苦情に発展する場合もあるため、お客さまからの申し出には誠意をもって対応することが必要です。

正

誤

59 [照会・苦情時の対応]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

苦情等を受けた場合は、所属会社の専門の担当者を頼りにせず、最後まで私たち自身の判断において解決するように心がけなければなりません。

正

誤

60 [照会・苦情時の対応]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約者以外の、配偶者や親族等からの契約情報についての照会などの申し出に安易に対応したことにより苦情やトラブルになるケースが多く、対応には十分な確認が必要です。正当な手順を踏まない契約者以外の人からの申し出は受け付けないことが原則です。

正

誤

61 [照会・苦情時の対応]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

契約についての情報開示は大切なサービスの一環ですが、契約者以外の人々に、契約者の了解なしに情報開示したことによりお客様に損害が生じた場合は、不法行為としてその責任が問われます。

正

誤

62 [照会・苦情時の対応]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

保険金額の変更や保険金受取人の変更など、手続きの種類によっては、契約者だけではなく被保険者の同意が必要な場合があるので注意が必要です。

正

誤

63 [企業向け商品]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

総合福祉団体定期保険は、従業員（役員を含むことができる）の死亡または所定の高度障害に対して保険金を支払う、5年更新で全員加入が原則の定期保険です。

正

誤

64 [企業向け商品]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

企業が従業員に対して、老後の生活の安定を図るために、退職後の終身あるいは一定期間の年金支給に備えて積み立てるタイプの保険を企業年金保険といいます。

正

誤

65 [企業向け商品]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

経営者保険は、経営者に万一のことがあった場合の経営上の損失補てんと遺族の生活保障、および経営者の退職金の準備などを目的として企業が一般の個人保険（財形商品を除く）を利用するものです。

正

誤

66 [企業向け商品]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

勤労者財産形成制度（財形制度）にもとづく保険には、財形貯蓄積立保険・財形教育積立保険・財形医療積立保険などがあります。

正

誤

67 [企業向け商品]

次の文章について、正しい場合は「正」、誤っている場合は「誤」を選んでください。

医療保障保険（団体型）は、健康保険の本人一部負担制と保険給付対象外費用の増加などに対応し、公的医療保険制度の補完を目的とした企業（団体）向けの商品です。

正

誤

68 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまには保険金・給付金を支払う場合や支払うことができない場合があることを、「ご契約のしおり」または「契約概要」や「[]」によってわかりやすく説明することが必要です。

ア. 注意喚起情報

イ. 意向確認書面

69 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまへの適切な保険金・給付金の支払いに向けて対応すべきことの一つに、日常の定期訪問活動により、支払事例等の情報提供をしながらお客さまに理解を深めていただくと同時に、保険事故が起こったときにお客さまが迅速に対応できるよう、すぐに行動できる手続き窓口等の [] もしっかりとお伝えしておくことがあります。

ア. 連絡先

イ. 最寄りの病院

70 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

保険料計算の基礎に使用している死亡率とはなはだしくかけはなれた高い死亡率を示すような死亡原因や、[] に反するような原因によるものに保険金を支払うことは、保険制度の健全な運営を妨げたり、善良な契約者の利益を害したり、あるいは社会一般の公益に反することになる場合があります。

ア. 習慣

イ. 公序良俗

71 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

お客さまへの適切な保険金・給付金の支払いに向けて対応すべきことの一つに、保険事故の発生の連絡を受けた場合、[] の定めた保険金・給付金の請求受付に関するルールに従って適切に対応することができます。

ア. 保険業法

イ. 生命保険会社

72 [保険金・給付金の請求と支払い]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

約款上、死亡保険金受取人が、[] 被保険者を死亡させたときは、「死亡保険金」を支払いません。ただし、その受取人が保険金の一部の受取人である場合は、生命保険会社は他の受取人に対してはその残額を支払います。

ア. 故意に

イ. 過失により

73 [生命保険の種類]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

死亡保険のうち、保険期間を定めているものを [] といい、保険期間が被保険者の一生にわたっているものを終身保険といいます。

ア. 定期保険

イ. 定額保険

74 [生命保険の種類]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

契約してから一定期間が満了するまで被保険者が生存していた場合にのみ保険金が支払われる保険を [] といいます。

ア. 生死混合保険

イ. 生存保険

75 [生命保険の種類]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

養老保険に定期保険を上乗せしたものを定期保険特約付養老保険といい、満期保険金より死亡の場合の保障を [] することができます。

ア. 小さくする

イ. 大きくする

76 [生命保険の種類]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

資産運用成果が期待できる反面、投資に伴うリスクも大きい変額保険は、その資産を定額保険の資産とは区分して運用する必要があります。そのため、会計上、変額保険の資産は [] で運用されることになります。

ア. 特別勘定

イ. 一般勘定

77 [生命保険の種類]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

終身保険タイプの変額保険（終身型）は、一生涯の死亡保障があり、死亡・高度障害保険金額は資産の運用実績にもとづいて毎月増減しますが、契約時に定めた保険金額（基本保険金額）は []。

ア. 保証されています

イ. 保証されていません

78 [剩余金と配当金]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

剩余金が生まれる原因是、死差益、利差益、[] の3つに分類されます。

ア. 費差益

イ. 為替差益

79 [剩余金と配当金]

次の文章の [] に入る最も適切なものを選んでください。

同じ保障内容の場合、無配当保険は有配当保険に比べ、保険料は [] になります。

ア. 割高

イ. 割安

80 [剩余金と配当金]

次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

有配当保険には、配当金の【 】に応じて、毎年配当型、3年ごと配当型、5年ごと配当型などがあります。

ア. 金額

イ. 支払時期

81 [剩余金と配当金]

次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

配当金の支払方法が、配当金を契約が消滅するまで、あるいは契約者から請求があるまで、生命保険会社に積み立てておく方法を【 】といいます。

ア. 積立（据置）方法

イ. 積立（相殺）方法

82 [剩余金と配当金]

次の文章の【 】に入る最も適切なものを選んでください。

配当金の支払方法が、配当金を契約が消滅するまで、あるいは契約者から請求があるまで、生命保険会社に積み立てておく方法の場合、配当金は、【 】の定める利率により複利で運用されます。

ア. 生命保険会社

イ. 保険業法

copyright (c) The Life Insurance Association of Japan, All rights reserved.